

世代間交流事業

「私たちにもできる支えあいのまちづくり!」として、子どもたちが参加する世代間交流事業を実施し、参加してくれた子どもたちから感想をいただきました。

わたしは世代間交流事業「私たちにもできる支えあいのまちづくり」に参加しました。

1回目は社会福祉協議会の人認知症の劇をしてくれました。認知症は病気でいろいろなことが分からなくなってしまうのですが、声のかけ方で気持ちが変わることがわかり、優しく声を掛けようと思いました。

2回目は太陽の家の体育館でポッチャとフライングディスクをやりました。障がいの方はポッチャもフライングディスクもとても上手でやり方を教えてくれました。

3回目は盲導犬が会いに来てくれました。とてもかわいかったです。困っているときは前から声をかけるのがいいそうです。

4回目は聴覚障がい者福祉センターに行きました。手話が分からなくても話ができるバリアフリーの機器が開発されていることを教えてもらいました。話が聞けて良かったです。

この活動は楽しいのにいろいろなことを学べてよかったです。

5年 池田遥音

私はにんちしょうと、しょうがい者スポーツ体験と、もうどう犬の講座に参加しました。

にんちしょうりかいではおさいふをどこにいたかこまっているお年よりにどういうふうに声かけをするかまなびました。

もうどう犬の講座では、トレーナーさんの犬へのあつかい方がやさしい感じで犬もきちんとやることをわかっていてすごいなと思いました。

しょうがいしゃスポーツははじめはできなかったけど練習したらできるようになってうれしかったです。

「支えあいのまちづくり」の講座では学校も学年もちがう人と毎回会って、お友達になり、一緒に学ぶことが出来てよかったです。

1年 相澤夏蓮



認知症についての理解



太陽の家でスポーツ交流



盲導犬の理解

不登校についての勉強会を開催しました

東京学芸大学の小林正幸名誉教授を講師としてお招きし、辻堂地区の地域団体関係者等を対象に、「不登校の急増について考える→保護者により添う」と題した勉強会を実施しました。

講演後の質疑応答では魅力的なやり取りもあり、参加者のアンケートでも好意的な意見を多くいただきました。



あとがき

冬の青い空と海に松の緑が映える季節になりました。松は防砂・防風林として海岸沿いに植栽され「市の木」であり、正月の門松は人気の縁起物です。人もエバーグリーンでありたいもの。

松の強さと美しさを思いながら皆様の健康長寿をお祈りいたします。

(Y.Y)

辻堂地区福祉だより

第78号



◆ 辻堂地区 ◆
面積 4.377km²
人口総数 44,312人
世帯数 19,676世帯
2024年12月1日現在

発行/辻堂地区社会福祉協議会 編集/広報部会 事務局/辻堂市民センター Tel.34-8661

福祉バザー

11月2日(土)、昨年同様、辻堂市民センター2階体育室で福祉バザーを実施しました。

今年度も沢山の品物をご寄付頂き、本当にありがとうございました。当日はあいにくの小雨模様にもかかわらず大勢の皆様にご来場いただき、会場の賑わいにスタッフも皆やりがいを感じながら販売させて頂きました。

当日売り切れなかった品物は11月9日(土)、10日(日)の辻堂公民館まつりで販売。更に多くの方々に買って頂きました。何度もいらして長い時間じっくり見ながら選び、沢山買って下さった方も何人もいらっ

しゃいました。

ご寄付頂いた方々、お買い上げ下さった皆様のご協力とご厚意に感謝申し上げます。またバザーの準備、販売にご協力下さいました自治会・町内会の方々、民生委員児童委員の皆様ありがとうございました。

売上金は辻堂地区社会福祉協議会の行事など地域の福祉に役立たせていただきます。

福祉を通して皆様にとって住みやすく優しい街になればと願っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



開場待ちの様子



会場内の様子

辻堂地区社会福祉協議会会長挨拶



辻堂地区社会福祉協議会
会長 関口 望

新しい年を迎えました。昨年は、年初めに能登半島地震があり、さらに北陸に豪雨が追い打ちをかけました。また、夏は猛暑となり、暑さは11月まで続き、私たちの生活に大きな影響をおよぼしました。地球温暖化による天候異変と自然災害をひしひしと感じた1年でした。

10月に衆議院選挙、11月にはアメリカ大統領選挙がありました。世界情勢も変化が出てくるようです。

世界の平和を願い、地球温暖化についても真剣に考える必要があります。そして福祉が充実した社会になるよう願っています。

敬老会

辻堂地区 社会福祉協議会の 主な取り組み

9月25日(水)、26日(木)の2日間、辻堂市民センター2階体育室で東西民生委員にご協力いただき、両日合わせて303名の方にご参加いただきました。今年から参加対象年齢を85歳以上に引き上げさせていただきました。これは高齢化が進み敬老会参加対象者数が増加し、参加希望者数が会場の収容人数を超える見込みとなったためです。大変心苦しい判断となりましたが、どうぞご理解ください。

第一部の式典では来賓の挨拶、祝電の披露、参加者代表の方へお祝品の贈呈を行いました。なお、お祝品についても、今年から対象年齢を88歳、90歳、95歳、99歳に限定させていただいております。

第二部の演芸では、辻堂地区のサークルの皆さまにご協力いただき、楽しい時間を過ごすことができました。25日は女声コーラスの「浜見コーラス」とマンドリン・ギター演奏の「湘南ソレイユ」がそれぞれ

昔懐かしい曲を披露し、会場が和やかな雰囲気になりました。26日はピアノと朗読ユニット「レーズンサンド」が昔話をピアノアレンジで聞かせてくださいました。また、「みんなで歌おう会」による童謡や民謡は一部手話も交え、参加者と一緒に楽しみました。

皆様の歌っている笑顔がとても素敵でした。

来年も多くの方のご参加を楽しみにお待ちしております。



浜見コーラス



湘南ソレイユ



みんなで歌おう会



レーズンサンド

福祉バス旅行

福祉バス旅行は、障がいのある方々を支援するための事業で、今年度は8月20日(火)に、神奈川県立生命の星・地球博物館と鈴廣かまぼこの里に行っていました。暑さにも負けず、皆様お元気でした。地球博物館へ入ると迫力ある恐竜が目に入り、「ワアすごいな」と第一声。皆で集合写真を撮った後は、それぞれ思い思いの場所を見学されていました。

鈴廣かまぼこの里では美味しい昼食をいただき、お土産を買物して、満足され帰路につきました。参加者のご夫婦が、「長く生きていると、今日のような楽しいことがあるなあ」と、嬉しい事をおっしゃいました。長く続けていきたい福祉事業の一つです。

地引網

「家族とのふれあい事業」である「地引網と宝探し」を、昨年に引き続き辻堂海岸の「五郎引網」で行いました。子どもたちが楽しみにしていた「宝探し」では、100名以上の参加があり、全員にお土産を配る事が出来ました。地引網は不漁で期待に応える事は出来ませんでした。みんなで引いた網は賑やかで楽しく、網が上がると歓声が沸きました。二番網が上がるまでの間に実施したジャンケンポン大会も大いに楽しんで頂きました。

ご協力下さいました地域の方々、民生委員児童委員の皆様ありがとうございました。



祝 百歳

大正・昭和・平成・令和にわたるご活躍に心から敬意を表し、お祝い申し上げます。

川尻 さと様 大正13年1月10日生
竹下 絢子様 大正13年8月26日生
松井 初枝様 大正13年9月6日生
吉田 フク様 大正13年10月18日生
鶴岡 千之助様 大正13年10月20日生
荒田 久子様 大正13年11月5日生
小澤 佐一様 大正13年11月9日生
上吹越 マサエ様 大正13年11月20日生
饗場 米子様 大正13年12月2日生
金児 秀子様 大正13年12月12日生
江崎 妙子様 大正13年12月13日生

・一般社団法人OZAWA
いつもありがとうございます協会様
・藤沢市社会福祉協議会様
・御菓子処 丸寿様
・櫻井 清師様

御寄付御礼

●日赤募金 1,744,251円
●共同募金(赤い羽根) 1,600,766円
●共同募金(年末たすけあい) 656,154円
※12月5日時点

募金御礼(報告)

●辻堂地区総合防災訓練に協力
日程..11月24日(日)(浜見小学校)
高齢者疑似体験訓練・車いす操作訓練を実施
●福祉バザー
日程..11月2日(土)・9日(土)・10日(日)
※11月9日(土)・10日(日)は、辻堂公民館まつりで開催
売上金..612,696円
●おたのしみ昼食会
日程..11月25日(月)・12月23日(月)・
(今後実施予定)1月27日(月)・
3月3日(月)・3月24日(月)
対象..75歳以上のひとり暮らしの高齢者



お知らせ 令和6年度行事報告

●福祉バス旅行

日程..8月20日(火)

障がいのある方とその付き添いの方1人を対象とした日帰りバス旅行です。

行き先..神奈川県立生命の星・地球博物館、鈴廣かまぼこの里

参加者..15組26人

●地引網

日程..9月7日(土)

親と子のふれあい事業として、昨年に引き続き開催しました。

場所..辻堂西海岸(五郎引網)

参加者..74組249人

●敬老会

日程..9月25日(水)・26日(木)

参加者..303人